

ミニ講座 幼小接続

令和7年2月14日に、長崎大学の森野先生、附属小学校の1年学年主任を講師に迎え、「幼児期から児童期へ」～幼小接続の立場から～というテーマでミニ講座を行いました。

はじめに、本園教頭が幼稚園教育は小学校教育の基礎となっていることや附属幼稚園で行っている自由保育の意義、自由保育だからこそその学びについての話をしました。

小学校教諭からは、御自身がお子さんを小学校に入学させるときに感じた不安な気持ちについてお話をされ、保護者の気持ちに寄り添ってから、講話を始められました。附属幼稚園の教育から続いている「続きの一步」として子どもたちの指導を行っているという内容で、附属幼稚園で自分の思いを主体的に表現する経験が、授業に主体的に向かう姿勢や自分の考えを表出することにつながっているということで、幼小連携がうまくいっていると感じました。

森野先生からは、遊びが中心の幼稚園での学びが小学校での学びにどのようにつながるのかについて、共同研究で行っている調査の結果を基に話をいただきました。

夏に幼小連携会議を開催しましたが、今後も幼保小架け橋プログラムを意識して、幼稚園・小学校・大学と連携を深めながら子どもたちを育てていきたいと思えます。

